

西宮市議会だより

Nishinomiya city assembly news



9月定例会
第137号

TOPICS

▶ 統合新病院について県に要望 (P3) ▶ 議会体感ツアーを開催 (P12)



CONTENTS

- 9月定例会の主な内容、審議日程など…………… 2
- 統合新病院について県に要望、
高校生が市議会へ…………… 3
- 一般質問…………… 3～8
- 委員会の活動状況…………… 9～10
- 議案等審議結果一覧表、
12月定例会の開催予定など…………… 11
- 議会体感ツアーを開催…………… 12

9月定例会

主な内容

9月定例会の主な内容をお知らせします。全ての議案等の審議結果はP11をご覧ください。



主な審議日程

Table with columns for month and session details, including dates like 8月 and 9月, and topics like 本会議 提案説明, 本会議 一般質問, etc.

平成29年度決算

認定

平成29年度の各会計決算を認定しました。一般会計では、公債費が減額となった一方、公共施設の建て替えなどの投資的経費や社会保障関係経費の増額に加え、定年退職者数の増加に伴い人件費が増額となり、歳入・歳出とも前年度決算額を上回りました。なお、実質収支は24億4千万円の黒字となっています。

条例(市長提出)

撤回

市長の退職手当の特例に関する条例案が撤回されました。

前回の6月定例会において、今任期の市長の退職手当を支給しないことを内容とする条例案が提案されましたが、6月定例会では可否を決めず、議論を継続していました。

この条例案について、今回の9月定例会において市長から「これまでの議会の意見を踏まえ整理をした上で改めて提案するため、議案の撤回をしたい」との申し出があり、全会一致で承認されました。

条例(議員提出)

否決

西宮市議会議員定数条例の一部を改正する条例案が否決されました。

次の一般選挙から、西宮市議会の議員定数を1名減らし、40名にするための条例案が議員提案されましたが、賛成少数で否決されました。

決議(議員提出)

可決

市立幼稚園における空調設備の早期整備完了を求める決議が全会一致で可決されました。

市立幼稚園の保育室の空調設備について、31年夏までに全園の整備を完了すること、また、休園予定の園についても必要な処置を検討することを求める決議案が、全会一致で可決されました。

人事案件(市長提出)

同意

北田正広氏の副市長選任について、全会一致で同意されました。

松永前副市長の任期満了で空席となっていた副市長1名について、北田正広氏(土木局長)の選任が提案され、全会一致で同意されました。北田副市長の任期は30年10月4日から34年10月3日までの4年間です。

8月1日に臨時会を開催し、補正予算案が全会一致で可決されました。

6月定例会で否決された平成30年度一般会計補正予算案のうち、論点となった①政策に係る専門家からの助言等の経費、②民間による放課後児童クラブ事業に係る経費、③情報発信拠点の運営経費などを除いた補正予算案が改めて提案され、全会一致で可決されました。

1面写真

多治見 寛之さん

(染殿町在住)

「みゃたん」と紅葉

応募作品の中から、広報広聴特別委員会でこの作品が選ばれました。





(左から) 八代健康福祉常任委員長、篠原副議長、町田議長、井戸知事、石井市長、上谷健康福祉常任副委員長

■県立西宮病院と市立中央病院の統合に関する意見書を提出
西宮市議会は、9月定例会で「県立西宮病院と市立中央病院の統合にかかる経営形態、運営費負担等に関する意見書」を全会一致で可決。10月22日に、県知事に意見書を提出しました。
市議会は27年12月・29年3月にも経営統合に関する意見書を県に提出。その後、県と市の協議が進み、30年6月に事務レベルの調整結果が示されました。今後、年度内には統合の基本方針が発表され、31年度には基本計画が策定される予定です。一方、調整結果には一定の課題が残されているため、市議会においても検討を重ね、今回改めて県に意見書を提出し、統合新病院の経営形態や運営費負担等について要望しました。

高校生が市議会へ

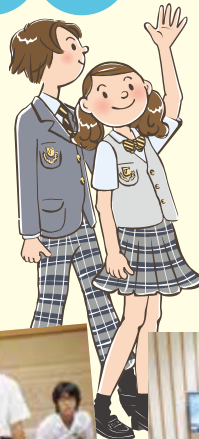
市議会の仕組みを学んだり、議員の仕事を体験したりしました。

■市立西宮高校 (特色選抜入学1年生)

生徒たちは議員席で「議員」を体験。まず、広報広聴特別委員長から市議会の説明を受け、議会への理解を深めました。次に、市長に向けて「学校で地域の防災訓練をしては」「市長の政策で重要なものは」など、具体的な質問や提案を行い、市長も丁寧に回答しました。(7月26日)

■県立西宮今津高校 (総合学科2年生)

今年で3回目となる「バーチャル市議会」を開催。生徒たちは議員席に座り、広報広聴特別委員長から市議会の説明を受けました。模擬一般質問では議長の進行の下、答弁役の議員に「熱中症対策」や「バリアフリー化」など、本番さながらに質問や提案を行い、議論が白熱しました。(10月25日)



※同様の企画をご希望の際は、議会事務局までご連絡ください!



岸 利之 (維新プラス)

シェアサイクルの活用で 交通利便性向上を

問 阪急電鉄と阪神電鉄は今津駅で乗り継ぐことができるが、JRは阪急・阪神電鉄と乗り継ぐ駅がないため不便である。そこで、シェアサイクルを活用した交通利便性の向上を提案するが市の考えは。

答 シェアサイクルはレンタサイクルと違い、どのステーションでも自転車を取り扱えることが魅力であり、観光等を目的に導入が広がっている。市としてもその効果等を注視しており、尼崎市での実証実験等の調査を行った。シェアサイクルが広く普及すれば、観光だけでなく公共交通機関の代替・補完等の効果も期待できるため、今後は他市の事例などを参考に、政策効果等を見極めながら、さまざまな観点から検討を進めていく。(質問時間26分)

坂上 明 (政新会)

市立学校体育館に エアコン完備を

問 今夏は異常な暑さが続き、熱中症が原因の痛ましい事件が頻発したが、「災害級」と言われる暑さは今後より厳しくなるとも予測され、屋外はもとより屋内への対応が急務である。そこで災害時の重要な避難所でもある市立学校体育館のエアコンは、来期を待たず完備する事が不可欠である。「人命に勝る大義はない」。考えを示せ。

答 エアコン整備は健康への配慮等から望ましいが、多額の予算や技術的検証が必要。熱中症対策は運用面や他市の状況など種々の観点から検討したい。

災害時の情報周知について

問 今夏は西日本豪雨をはじめ、台風の相次ぐ上陸や北海道地震等、各地に甚大な爪痕を残した。今や災害時の緊急速報等

大阪府北部地震発生時の被災状況の把握について
大阪府北部地震の対策本

西田 いさお (無所属)



緊急告知ラジオ

詳細な情報周知は自治体の重大な責務である。本市は既に防災無線は敷設済みだが、その災害時のスピーカー音は豪雨や強風等に打ち消され、全くと言っていい程聞こえない。従って防災無線の限界を知り、防災ラジオの配布等、別の手段を講ずるべきである。考えを示せ。

答 避難勧告等の情報はさくらFMやテレビのデータ放送等さまざまな方法で配信している。啓発活動のほか、緊急告知ラジオの販売店舗数の拡大や防災スピーカーの性能改善にも努める。(質問時間64分)

部開催中にもかかわらず刻に本会議が開催された。被災状況をどの程度把握していたのか。

答 対策本部会議で火災の発生がないことを含め被害状況を共有。市全域の巡回点検やさらなる情報収集を指示し、収集した被害状況を基に市内の被害は軽微と判断し、本会議に臨んだ。

視察で職員のスキルアップを

問 職員のスキルアップのため視察を行うべきだ。スーパースターを作るのでなく、全体の底上げのために実施すべきでは。

答 立体駐車場や周辺等で現在の2倍相当の約400台の駐車場を確保。公共交通機関の利用促進や駐車場の予約制等の対策のほか、大規模大会等が重ならぬよう利用調整も行う。再整備場所としては市南部地域の中心地であり適切と考えている。

新中央体育館の建設計画について

問 新中央体育館の建設には当初から民間ノウハウの利用と資本導入を求めてきたが、現行の計画が進められている。交通アクセスの悪いこの土地での建設計画は禍根を残さないか。

答 立休駐車場や周辺等で現在の2倍相当の約400台の駐車場を確保。公共交通機関の利用促進や駐車場の予約制等の対策のほか、大規模大会等が重ならぬよう利用調整も行う。再整備場所としては市南部地域の中心地であり適切と考えている。

政策形成力育成研修の中で先進自治体等への視察を取り入れている。職員の成長に効果があると考えており、他の研修でも実施方法等を研究していく。(質問時間45分)

阪急苦楽園口駅周辺の駐輪場問題について

問 阪急苦楽園口駅付近は駐輪場の整備に不足している。必要な駐輪場の整備に向けた取り組みは、駅東側の夙川公園内に駐輪場の整備が可能か検討しているが、景観への配慮や安全性の確保など解決すべき課題も多い。これらを整理・解決した上で関係機関と協議・調整を行いたい。

問 国道82号と阪急甲陽線が交差する西宮六甲線踏切は安全対策が必要だ。具体的対策は。

答 当該踏切と満池谷墓園前の水道路踏切の拡幅や両踏切前後の交差点の改良、夙川学院跡地前の道路拡幅による相互通行化や歩道設置を検討している。実現には多くの課題があるが、関係機関と協議・調整し、具体

阪急甲陽線の西宮六甲線踏切の安全対策について

問 国道82号と阪急甲陽線が交差する西宮六甲線踏切は安全対策が必要だ。具体的対策は。

答 当該踏切と満池谷墓園前の水道路踏切の拡幅や両踏切前後の交差点の改良、夙川学院跡地前の道路拡幅による相互通行化や歩道設置を検討している。実現には多くの課題があるが、関係機関と協議・調整し、具体

はまぐち 仁士 (せんしん)

化に向けて取り組みを進める。

市立体育館利用のしにくさの改善を

問 市民から一部の市立体育館が借りにくいとの意見を聞く改善に向けた具体的対策は。

答 体育館が借りにくいとの声は認識しており、解決すべき課題と考えている。開館時間延長の検討や、先行予約等での開催場所の見直しを関係部局・団体に依頼するなど、今後も利用者の声を聞きつつ利便性向上に向けた環境整備を実施していく。

▼その他の質問 内部公益通報の課題について (質問時間49分)

市立体育館利用のしにくさの改善を

市立体育館利用のしにくさの改善を

問 市民から一部の市立体育館が借りにくいとの意見を聞く改善に向けた具体的対策は。

答 体育館が借りにくいとの声は認識しており、解決すべき課題と考えている。開館時間延長の検討や、先行予約等での開催場所の見直しを関係部局・団体に依頼するなど、今後も利用者の声を聞きつつ利便性向上に向けた環境整備を実施していく。

▼その他の質問 内部公益通報の課題について (質問時間49分)

国民健康保険の人間ドック受診費用助成について

国民健康保険の人間ドック受診費用助成の需要は、今後高いと考えられる。より多くの方が受診できるよう、助成対象の医療機関を限定せず、市内の全医療機関に拡大できないか。

答 まずは利用者からの要望が多い①内視鏡での胃部検査を含むコースの拡大②女性スタッフによる婦人科検診を含むコースの新設など、ニーズに応えられるよう調査・調整を実施する。

山 英 治 (公明党)

国民健康保険の人間ドック受診費用助成の需要は、今後高いと考えられる。より多くの方が受診できるよう、助成対象の医療機関を限定せず、市内の全医療機関に拡大できないか。

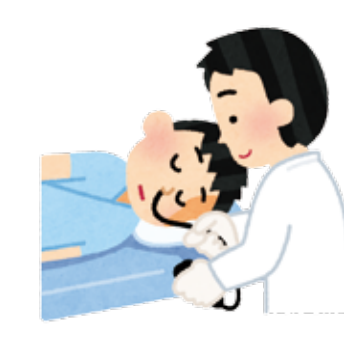
答 まずは利用者からの要望が多い①内視鏡での胃部検査を含むコースの拡大②女性スタッフによる婦人科検診を含むコースの新設など、ニーズに応えられるよう調査・調整を実施する。

人件費をメインとした行政改革を

問 安定した財政運営のため、人件費をメインとした行政改革をすべきでは。

答 公共施設の老朽化、多様

人件費をメインとした行政改革を



公共施設の老朽化、多様

公共施設の老朽化、多様

公共施設の老朽化、多様

公共施設の老朽化、多様



化するニーズ等に対応しつつ市民サービスの大きな低下を招かぬよう、内部管理経費縮減や既存事業見直し等を行う。また、先行事例や外部の視点も取り入れ、効率的な行政経営と質の高い行政サービスの実現を目指す。

主要駅に送迎保育ステーションの設置を

問 待機児童解消のため、阪神西宮駅だけでなく阪神・阪急・JRの主要駅に送迎保育ステーションを設置すべきでは。

答 他市の状況を見ても必ずしも運用がうまくいっているとは言いがたい事例もあるため、本市で1例目の阪神西宮駅前ステーション事業の実績等を検証した上で今後の展開を検討する。(質問時間63分)

八代 毅利(公明党)

保育所入所判定にAIの活用を

問 保育所入所判定にかかる時間の短縮に向け、AIの活用を検討すべきだ。

答 入所選考の条件は市によって異なるため、本市に合ったシステムを用意できるかも含め課題を整理し、実証実験に向け

検討中だ。AIの活用は業務効率化等に有用と考え、今後も積極的に調査・研究を行っていく。

小曽根線のバス路線について

問 鳴尾地区とJR甲子園駅を結ぶ小曽根線バス路線を早期に実現すべき。進捗はどうか。

答 30年4月に実施した試験走行の結果を踏まえた関係機関との協議がおおむね整った。現在、阪神バスにおいて必要な手続き等の準備を行っている。

事業系ごみ削減の取り組みを

問 事業系食品ロス削減のため、他市も参考に食品ロス削減推進店舗登録制度等の施策を実施すべきである。市の考えは。

答 現在、一般廃棄物処理基本計画の改定作業を行っており、今後、新たに取り組む施策の一つに、(仮称)食べ残し抑制推進認定店制度の導入を盛り込む予定。詳細は未定だが、先進市の取り組みも参考に、早期実施に向け検討を進める。

▼その他の質問 子育て支援について、市民の安全について、鳴尾の課題について (質問時間73分)

まつお 正秀(日本共産党)

農業振興計画について

問 本市では少なくとも農地を減らさず発展させる計画が必要と考える。30年度中に策定される第4次農業振興計画では、第3次計画の進捗を踏まえたような課題を解決していくのか。

答 第4次計画でも、農業者の高齢化と後継者不足、遊休農地の増加が引き続き重要課題だ。解決に向け、多様な担い手の確保・育成と担い手への農地集約、多様な流通チャンネルの整備等の視点から計画を策定していく。



平和について市長の思いは

問 30年8月15日に終戦から73年を迎えた。私たちが平穏な暮らしをする上で前提となる平和について市長の思いは。

答 平和希求の思いは強く、

先人の歩みを踏まえて前進したい。今後も原水爆禁止西宮市協議会等と手を携えて市民に平和の大切さを訴えていくほか、平和首長会議等を通じ、核兵器のない世界の実現を訴えていく。

市民集会施設の整備を

問 広田小学校区における国道171号以北の地域で、市民集会施設が必要と認識されながら、課題解決が進まない理由は。

答 現在、この地区では中央運動公園等の整備事業の検討が進められているため、候補地については本件の整備方針等を把握しながら検討していく。(質問時間50分)

うへだ あつし(政新会)

要介護認定にかかる期間の短縮について

問 本市の要介護認定にかかる期間は平均35・2日間で、これは介護保険法に定める30日を上回っている。また、暫定利用者数を含め、結果通知を待つ利用者の様子も把握できていないのが現状。今後、利用者や家族の負担を少なくする取り組みが必要と考えるが、市の考えは。

答 31年1月から一部の地域で認定調査業務を委託する予定で、結果通知までの期間を30日以内に短縮できる見込み。暫定利用については意向確認にとどまらず、必要に応じ地域包括支援センターに情報提供し、サービスの円滑な提供に取り組む。



避難所運営の事前対策について

問 学校施設における避難所運営の事前対策は教員と市職員のみで行われているが十分ではない。国が示すガイドラインに沿った対策には、自主防災組織や自治会等の地域の方々と、保健師や学校保健を担う医療者等の専門家の参加が不可欠。早期実施が必要と考えるがどうか。

答 学校や地域、専門職などと災害時に避難所運営に携わる多くの関係者による避難所運営シミュレーションは大いに有用で

ある。各関係者の調整が整った地域で取り組みを進めていく。
▼その他の質問 要介護予防策その1「西宮いきいき体操」について

(質問時間63分)

福井 浄 (維新ふる)

市営住宅のバリアフリー化について

問 市営住宅のバリアフリー化のため、模様替え承認で設置された設備を再利用できないか。
答 介護保険制度等で設置された設備は、身体状況等により必要性や仕様が異なるため原則再利用していないが、安全性が確認されるなど管理上支障がない設備は再利用する場合もある。



業務執行体制の見直しを

問 尼崎市ではコンサルタント業者が全業務プロセスを分

析・分類し、外部委託を進めている。本市も同様の手法で業務執行体制を見直しはどうか。

答 質の高い行政サービスを確保しつつ限られた人的資源を最大限活用するため、効率的な運用が必要である。先行事例も参考にし、業務効率化に努める。
(質問時間26分)

中尾 孝夫 (市民夕改革)

山口町名来地区へのコミュニティ交通導入は

問 北部地域、ことごとく山口町名来地区は高齢者にとって公共交通不便地域だ。地元でのコミュニティ交通導入の動きについて、現状と見直しは。

答 29年度に山口地域活性化推進委員会でコミュニティ交通導入に向けた取り組みを始め、30年5月には検討委員会を組織し、具体的な取り組みを進めている。市は学識経験者の派遣など積極的に支援していく。

虫保護条例の制定を

問 北部地域の有馬川と船坂川は虫の宝庫だ。虫保護条例の制定こそが環境学習都市にふさわしい。市の見解は。

答 地域の保護活動等で虫発生件数は増加傾向にある。今後、虫の保護活動を市の行動計画に位置付け、地域と共に取り組む予定だ。そのため直ちに条例が必要な状況ではないが、虫をキーワードとして、市全体の魅力を発信する条例を研究していく。



船坂川の虫

下校時にも校門警備を

問 小学校等の登校時は警備員による校門警備を実施しているが、下校時も実施すべきでは。

答 現場等の意見を聞き午前中を中心に行っていたが、他府県で発生した事件等を考慮し、今後、登下校時間を中心とした時間帯に変更するなど、より安全な警備について検討していく。
(質問時間57分)

河崎 はじめ (市民夕改革)

開発に関する条例の矛盾点について

問 開発事業等におけるまちづくりに関する条例では、住宅の定義を「居室、炊事設備及び便所を有し、構造上居住の用に供する建築物をいう」としている。野間町に建設予定の159戸の学生寮には多くの人が寝泊りするが、条例では寮が住宅に当てはまらないため、道路の幅や公園・駐車場の整備など多くの矛盾点がある。条例や要綱の改正で解消できないか。

答 当該学生寮は各部屋に炊事設備がないため住宅ではないと判断した。学生寮等が地域に与える影響等も考慮する必要がある。規制等について近隣市の状況も調査・研究していく。

開発に関する条例の適用逃れについて

問 樋ノ口町での戸建て開発が、工期の分割により条例が義務付けている近隣説明やごみ集積場設置を免れている。こうしたケースは昔から多い。良好な街づくりのため、現在も隣地などが空き地の際に提出が必要と

なる残地誓約書を厳しいものにし、開発の分割による条例の適用逃れを防げないか。

答 事業の届け出の際に残地がある場合、状況により残地も含めて開発区域とするよう指導し、敷地分割の抑制に努めている。残地での土地利用が明らかなる場合は関係部局と連携し、ごみ集積場設置等の指導に努める。
(質問時間47分)

協田 のりかず (維新ふる)

市県民税の口座振替について

問 口座振替を行わない期間が5年続くと口座情報が廃棄されること、設定ミスで廃棄されていなかった。市の対応は。

答 該当者にはおわびと説明文を送付。納付方法に係る希望を調査し、それに応じて対応する。今後のシステム改修時に条件設定等に誤りがないよう十分検証し、改修後の確認も徹底する。
補助金制度の利便性向上

問 市内事業者に対する補助金制度について利便性の向上が必要と考えるが、市の見解は。
答 補助金制度は目的を明確

にして内容や対象者を定めるため細分化されるものが多いが、活用しやすい制度設計も必要だ。第3次産業振興計画策定に向けた議論も踏まえ、改善に努める。

(質問時間19分)



八木 米太郎(せんしん)

新たな広域連携について

国が推奨する「新たな広域連携」について、市の考えは。

近隣自治体との効率的・効果的な行政サービス提供の必要性はあるが利害調整が難しく、当面は既存の枠組みを活用して広域連携のあり方を研究する。

名塩道路整備の進捗状況は

名塩道路整備(生瀬地区・東久保地区)の進捗状況は。

生瀬地区では西宝橋架け替えに伴う仮橋が31年5月頃に完成予定。工事中の大多田橋は30年度中に橋台が完成予定で、31年度は橋桁の架設等に着手予定。東久保地区では、用地買収(進捗率58%)と工事を同時に

進めており、30年度は必要な水路の付け替え等を実施する。



西宝橋

名塩道路整備

今後の見通しは

早期完成に向け、市長が要望のため上京されたと聞くが、今後の見通しはどうか。

これまでも完成時期の公表を国に要望してきたが、公表にはまだしばらく時間が必要と思われる。今後も工事の円滑な進捗と完成時期の公表を国に求め、地元調整等に協力していく。

(質問時間34分)

大川原 成彦(公明党)

深津育成センターの立地について

深津育成センターの新設計画案では、その位置が深津小・中学校敷地のご真ん中にある。両校は昭和58年に同時に整備・開校されたため更新時期もほぼ同時になると考えられる。複合化の方向性や小中一貫教育が定着していく中での施設整備との観点から、新センターが小・中学校のご真ん中に位置することは、将来の学校施設の建て替え等に禍根を残さないか懸念する。小学校南西端の民有地を取得し、現地での拡張建て替えはできないのか。

当該民有地を購入して建て替えた場合、育成センター施設自体の建築費用に加え、土地の取得に2000万円から2500万円が必要となる。また、学校敷地との高低差を整備するための費用や、工事の際に既存の育成センターを撤去して仮設の施設を設置するための費用も別途必要となる。現地建て替えも検討したが、小学校の体育館棟との位置関係などにより必要

な建築面積の確保が困難との結論となったため、学校・教育委員会等の関係機関と協議を重ね現在の計画に至った。なお、新育成センターは3階建ての鉄骨造で、耐用年数は34年。深津小・中学校の校舎は、計画的な保全等による長寿命化で耐用年数を80年とした場合、残り45年使用する予定。

(質問時間63分)



杉山 たかのり(日本共産党)

統合新病院に関する用地取得費について

市立中央病院と県立西宮病院が統合し、県立県宮病院となる調整結果が示されたが、アサヒビル西宮工場跡地の用地取得費を市が33億円負担するに

(質問時間80分)

県との調整結果では、土地所有権は県が取得するが、将来病院として使用しない場合の用途は市の意向が優先される。病院統合は本市医療環境の向上が最大の目的で、今後も市民に理解いただけるよう努めていく。

名神湾岸連絡線の環境影響評価について

名神湾岸連絡線整備は今津地区の住環境と市民生活に悪影響を及ぼす。市は環境影響評価の結果次第では、推進の立場から反対の立場に変わるのか。

今後、国による調査等が行われ、必要十分な対策が検討・実施されると考える。丁寧な手続きを国に要請し、事業の円滑な推進に協力する。

学校給食費の無償化や助成について

国の全国調査では、学校給食の無償化や助成に取り組む自治体は3割近くとなっている。本市も検討すべきでは。

無償化やさらなる負担軽減の考えはないが、当該調査は国の自治体支援の材料にもなることから、国や他の自治体の今後の動向を注視していく。

中川 経夫 (政新会)

鳴尾義民追悼法要について

問 世話人の方々の高齢化が進み、先人の偉業を引き継ぐのが困難になっている。合併の際市と交わした「覚書」のとおり市も協力・支援すべきでは。

答 今後も追悼法要を継続できるとともに、地域の歴史を学ぶ機会を子どもたちに提供するなど広く市民への周知に努める。



鳴尾の義民碑(北郷公園)

甲子園浜の
公社所有の土地について

問 甲子園浜の土地開発公社所有の土地にはさまざまな課題があるが、現在のサッカー人口を考えれば、サッカー場として

整備すべきだ。市の考えは。

答 サッカーをはじめ種々の競技が可能な多目的グラウンドのニーズが高く、大規模災害にも備える必要があるため、サッカーも可能な多目的グラウンドを含む公園として整備したい。

新中央体育館について

問 新しい時代の体育館は、「するスポーツ」に加えて「観るスポーツ」への対応も必要だ。現計画より優れた提案があった場合、検討の余地とその期限は。

答 より優れた提案があれば、市の課題を解決できるかを念頭に検討したい。検討期限は、竣工が遅れないよう、遅くとも本年11月中旬頃と考えている。▼その他の質問 西宮市と橈原町の交流について (質問時間63分)

川村 よしと (政新会)

市長の選挙公約
市長へのホットラインとは

問 「市長へのホットライン」とは何なのか、いまだ具体的に示されていない。既存のツールや制度と公約の文面を考慮すると、もはや直通電話しかないと思われるが具体的に何なのか。

答 市民から市長室にダイレクトに通じる電話という趣旨ではなく市長に対してより市民の声が届きやすくなるようなパイプをつくりたいとの趣旨である。

市長の選挙公約
情報フルオープン構想とは

問 「情報フルオープン構想」という選挙公約には「あらゆる行政情報を開示」と書かれていた。これは市の情報で開示されていないものうち、情報公開請求しても開示されなかったものをオープンにするものと読み取れるが、どうか。

答 市民の参画・納税意識が高まるよう、選挙というプロセスだけでなく政治や行政の事がわかる・見えるように編集し、示していきたいとの趣旨である。

学校給食について

問 給食食材の物資評価の改善について、今後の方針は。

答 物資評価委員会は、委員が率直に発言できるよう非公開としていたが、より透明性を高めるため今後は公開する。選定基準も項目ごとにポイントを設け、全委員が一定基準で評価で

きるよう整理を進めている。

(質問時間70分)



澁谷 祐介 (せんしん)

課数の適正化に向けて

問 本市の課数は、同規模市と比較して倍近く多い。課数が多くなり過ぎると、①組織・業務の縦割りの進行②職員数の増加③等、多くの問題が発生する。こうした状況を踏まえ、課数の適正化に取り組むべきと考えるが、どうか。

答 ヒアリング等を通じて各課の業務内容を確認・精査し、現在の課数や組織体制について適正かつ効率的な体制となるよう、見直しを図っていく。

ごみ収集業務の
効率化について

問 市は一部の地域において

直営でごみを収集しているが、

①収集ルート②収集に従事する職員の勤務時間等、多くの面で改善すべき課題がある。効率化のため、こうした課題を是正すべきと考えるが、どうか。

答 今回提案されたこれらの課題については慎重に議論・検討し、今後もごみ収集業務の適正な人員・車両配備に努め、さらなる業務効率化を図っていく。



市が行う業務の
棚卸しと整理を

問 業務の棚卸し・整理に取り組むべきと考えるが、どうか。

答 業務効率化のためには国が示す取り組みなどを参考にした事務手順等の業務分析が必要。分析作業が負担となることにも配慮しつつ、今後その手法を具体的に検討し、取り組んでいく。(質問時間57分)

委員会活動状況

総務 常任委員会

委員長 園山ますと 副委員長 大石 伸雄
 委員 大石 伸雄 大原 智 川村よしと 杉山たかのり
 中尾 孝夫 わたなべ謙三朗

■市長に要望書を提出

6月18日に発生した大阪府北部を震源とする地震と、7月5日から8日にかけて西日本各地を襲った豪雨を振り返り、本市の課題を整理。今後取り組むべき内容を協議し、住民への防災啓発、災害情報、避難所、災害時の応援協定などの8項目を市長に要望しました。

■施策研究テーマ

「第5次西宮市総合計画と議会の関与について」、「本庁舎周辺整備・公共施設再配置の考え方について」、「職員の働き方と業務の効率化について」の3項目に決定しました。

▽第5次西宮市総合計画と議会

の関与について

既に地域説明会とパブリックコメントが実施されているため、早々に提言すべきと判断。7月8月の委員会で集中的に委員間討議を行った結果、総合計画の構成、議会の関与と議決対象、中間見直しについて論点整理し、8月27日に提言しました。

▽本庁舎周辺整備・公共施設再配置の考え方について

アサヒビル西宮工場跡地取得の政策判断についての教訓、土地の有効利用、まちづくりと連動した施設の再配置、施設の統廃合と機能統合、本庁舎周辺整備を論点に、11月に提言する方針です。

▽職員の働き方と業務の効率化について

人件費や適正な人員配置、RPA(ソフトウェア型ロボットによる業務自動化)、AIを活用した働き方改革、民間力を活用した業務効率化などを論点に、年明けに提言する方針です。

民生 常任委員会

委員長 園田中 正剛 副委員長 菅野 雅一
 委員 菅野 雅一 佐藤みち子 篠原 正寛 西田いさお
 松山かつのり よつや 薫

■施策研究テーマ

▽西宮市環境基本計画について(低炭素社会づくり)

西宮市が全国初の「環境学習都市宣言」を行ってから15年が経過し、本年度は、17年3月に策定した新環境計画が見直されます。そこで、「低炭素社会づくり」に焦点を絞り、これまでの環境学習の取り組みの効果を検証。市民の環境意識の向上や再生可能エネルギーの導入促進、地域の低炭素化などについて、今後進めるべき取り組みを市に提言するため、集中的に調査を進めます。

▽男女共同参画について

男女共同参画社会のあるべき

常任委員会は、議案・請願の審査や、市の事務の調査のために設置されている常設の委員会です。西宮市議会には5つの常任委員会があり、議長以外の全議員がいずれかに所属しています。今号では「施策研究テーマ」「管内視察」「管外視察」について掲載しています。

園山委員長

副委員長

園田中 正剛 副委員長 菅野 雅一

委員 菅野 雅一 佐藤みち子

篠原 正寛 西田いさお

松山かつのり よつや 薫

姿について改めて考え、職場における男女平等や、男性の地域生活・家庭生活への参画促進を中心に議論する予定です。

■管内視察・管外視察

10月に、富山市(環境未来都市の取り組み・総合体育館の活用・カラス対策)、長野県(エネルギー戦略)、民間住宅メーカーのモデルルーム(環境住宅)、川崎市(男女共同参画及び小水力発電)に伺い、各項目について説明を受け、現地視察を実施しました。11月には、市内の民間事業者が導入している環境対策施設を現地視察させていただきます。

いたたくとともに、男女共同参画をテーマとして、西宮市PTA協議会の役員の皆様から現場での意識や課題についてご意見を伺いました。民間企業への視察や市民の皆様との意見交換は、私たちにとって大変有意義な機会となりました。ご協力いただいた関係者の皆様に心から御礼申し上げます。

健康福祉 常任委員会

委員長 園八代 毅利 副委員長 幸美
 委員 園八代 毅利 副委員長 幸美
 うえだあつし 河崎はじめ
 竹尾ともえ 野口あけみ
 長谷川久美子 八木米太郎

■施策研究テーマ

▽健康寿命延伸のために(フレイル予防について)

健康寿命の延伸は我が国の医療・介護保険制度の持続可能性を高めるために重要な課題であり、厚生労働省が25年にスタートさせた健康日本21(第二)の中心的テーマです。本市も健康増進計画を策定し、実施しています。健康日本21の中間評価では、国全体の健康寿命の伸びが平均寿命の伸びを超え、平均寿命と健康寿命の差、すなわち日常生活動作が自立していない期間が男女ともに短くなり、一方、本市では日常生活動作が自立していない期間が男女

委員会の活動状況

とも長くなりました。国は、健康寿命のさらなる延伸にはフレイル(加齢により筋力や認知機能、社会とのつながり等が低下した状態)の予防が重要であるとしてその取り組みを推進しています。これは本市でも喫緊の課題であると考え、施策研究テーマとしました。フレイル予防には栄養・口腔ケア・運動・社会参加が重要です。この4つの観点から市当局の取り組みを聴取し、管外視察などを通して先進市の取り組みを研究し、提言します。

■管外視察(10/29〜10/31)

大和市(フレイル予防(管理栄養士訪問活動)、柏市(フレイル予防)、鳩山町(機能的コミュニティを利用したフレイル予防)、板橋区(いたばし健康づくりプロジェクト)、横浜市(横浜健康アクションStage 1、よこはまウォーキングポイント、介護支援ボランティアポイント事業)

教育子ども常任委員会

園花岡ゆたか 副はまぐち仁士
坂上 明 庄本けんじ
山口 英治 吉井 竜二
脇田のりかず

30年度の**施策研究テーマ**は、「英語教育について」、「放課後の居場所づくりについて」です。
▽英語教育について

日本の英語教育は大きな転換点を迎えようとしています。文部科学省は、学習指導要領を見直し、32年度から小学校・中学校での英語教育を大きく変えることにしました。そのため移行措置として、30年度から段階的に、小学3・4年生から外国語活動が始まり、32年度からは、小学5・6年生では英語が教科化されます。中学・高校では、授業が英語で行われ、読む・書く・聞く・話すの4技能が重視され、大学

受験も大きく変わります。

本委員会としては、先進的な事例を視察・研究するなどして、本市の英語教育の望ましい手法を見つけようと考えています。
▽放課後の居場所づくりについて

保育需要が高まる中、今後は育成センターの受け入れがさらに困難となるのが市の推計で明らかになっていきます。学校敷地内には新たな施設を整備できる場所がないため、今後は新たな受け入れ方法を検討しなければなりません。他市では余裕教室などを活用した放課後の居場所づくりを進めており、この取り組みで全学年を受け入れ、待機児童ゼロを実現しています。近年、子どもたちが自由に遊べる場所が少なくなっています。本市でも安全で自由な遊び場を提供し、有意義な時間を過ごすための放課後の居場所事業が構築できるよう、管外視察では先進事例を勉強しました。

建設常任委員会

園蓋谷 祐介 副岸 利之
岩下 彰 大川原成彦
草加 智清 中川 經夫
まつお正秀 やの 正史

30年度、建設常任委員会では**施策研究テーマ**を「リゾ鳴尾浜について」に決定しました。
▽施策研究テーマの選定理由

リゾ鳴尾浜は、(株)鳴尾ワールドが経営するプール・フィットネス・温泉を中心とした複合リゾート施設です。29年度の売上高は4億5827万円、経常損益は252万円の赤字。経営状況は一見、良好に見えますが①建物の賃借料免除②駐車場の賃借料免除等、年間1億円以上の税金が投入されており、実質的には大幅な赤字経営です。また建設から20年以上が経過し老朽化が進んでいるため、今後15年間で15

常任委員会に関する情報は
こちらをご覧ください。



20億円程度の修繕費が必要となるなど、施設の存続に伴う市の金銭的負担は、極めて大きいものです。
加えて、①民間の温泉施設・フィットネスが多く存在する②近接する「尼崎スポーツの森」にもプールが設置されている

中、市が多額の公金を投じてまで施設を存続させる必要があるのか、という点についても慎重な検討が必要です。
こうした状況を踏まえ、リゾ鳴尾浜の今後について検討するため、30年度の**施策研究テーマ**に設定しました。今後、委員会として議論を重ね、市当局に提言する予定です。

■管外視察(10/29〜10/31)

東大阪市(都市計画道路の見直しについて)、川崎市(駐輪対策について・川崎駅周辺地域のまちづくりについて)、さいたま市(駐輪対策について)。今後、視察結果をまとめ、市当局に提言する予定です。

議案等審議結果一覧表

全会一致で可決されたもの

(平成30年9月定例会)

Table with 4 columns: 市長提出, 議員提出, 決議, 議案内容. Rows include 平成29年度決算, 平成30年度補正予算, 新規制定(農業共済条例), 一部改正(養護老人ホーム), 市立幼稚園における空調設備の早期整備完了を求める決議.

退場者がいた場合は、下表「表決態度が分かれたもの」に記載しています。
※平成30年6月定例会で継続審査となっていました。市長から撤回の申し出があり、承認されました。(P2参照)

表決態度が分かれたもの

(○賛成、×反対)

Large table showing voting results for various bills across different political groups: 会派名等, 政新会, 公明党議員団, 会派・ぜんしん, 日本共産党西宮市会議員団, 市民クラブ改革, 維新プラス, 無所属. Columns list member names and voting status (○ or ×).

※採決結果の○は提出された議案などが賛成多数で可決されたことを、×は否決されたことを示しています。「退場」とは、採決に参加しなかったことを示しています。



会派の結成
30年8月7日付で会派「維新プラス」が結成されました。所属議員は、岸利之議員、福井浄議員、脇田のりかず議員です。
委員の選任
30年8月7日付で「維新プラス」から新たに福井浄議員が議会運営委員に、脇田のりかず議員が広報広聴特別委員に選任されました。

12月定例会の開催予定
Table with columns for dates from 11月 to 12月, listing meeting types like 本会議, 常任委員会, 委員会報告, 採決など.



にしのみや市民祭りに参加



西宮市議会は、にしのみや市民祭りで3回目の「議会体感ツアー」を開催。276名の方にご来場いただきました。ツアーでは議員席で市議会の説明を受け、クイズも交えて楽しく学びました。今後も、議会を身近に感じられるよう取り組んでいきます！



1 ツアーは市役所の議会棟前に集合！12時から計6回開催。



2 議員が議会棟を案内しながら、本会議場に向かいます。



3 本会議場では、議員が市議会の仕組みを楽しく説明します。



4 議員席に座ってご機嫌です。



5 市議会クイズに挑戦！1問ごとに歓声が上がります。



6 議員の問いかけに、率先して答える子どもたち。



7 記念撮影タイム。市長席や議長席は大人気！



8 最後にノートとペンをプレゼント。子どもたちは大喜びです。



9 たくさんのご来場、ありがとうございました！

